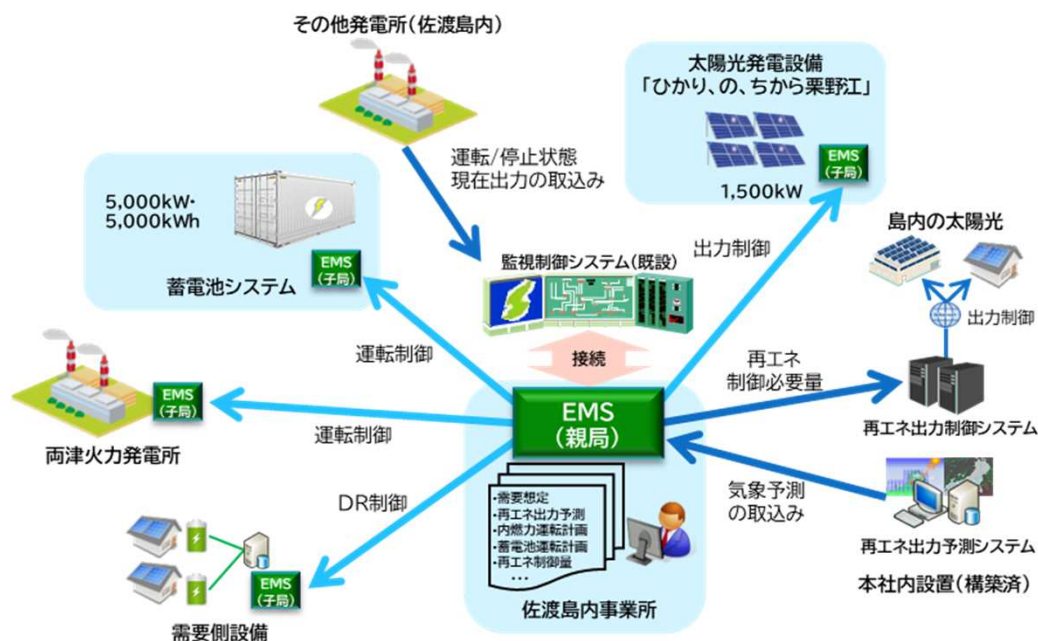


蓄電池・EMS等を活用した離島系統の需給調整

- 当社は、離島系統である新潟県佐渡市において、再エネや蓄電池、内燃力発電、エネルギー管理システム(EMS)等を組み合わせた最適な需給制御の実現に向けて取り組んでおります。
- 再エネ導入拡大を通じた離島供給の脱炭素化の推進のみならず、本取組みを通じて得られた知見は、将来的な分散型グリッドの構築にも活用できるものと期待しております。

具体的取組み

島内の電気の使用量と再エネの発電量を予測するとともに、太陽光発電・内燃力発電等の発電量を一元的に把握・管理し、再エネを最大限活用しながら蓄電池の充放電と内燃力発電の出力調整等を適切に制御するシステムを構築（運用開始：2024年度）



主な設備

設備	概要
EMS親局	設置場所：佐渡電力センター 主な機能： <ul style="list-style-type: none"> • 内燃力発電設備の運転制御 • 蓄電池システムの運転制御 • 太陽光発電システムの出力制御
蓄電池システム	出力/容量：5,000 kW/5,000 kWh 電池種別：リチウムイオン電池
太陽光発電システム	名称：ひかり、の、ちから栗野江 出力：1,500 kW 発電電力量：約158 万kWh/年 パネル種別：単結晶シリコン

